

パソコン・テレビ電話



パソコンふれあい館・せや

目次

1. S k y p e のインストール	3
2. S k y p e アカウントの取得	6
3. S k y p e の基本設定	8
4. S k y p e 基本画面の構成	10
5. S k y p e の通話方法	11
6. S k y p e の音声通話テスト	11
7. コンタクト・リスト（個人電話帳）の作成	12
8. 音声通話をしてみよう	13
9. W e b カメラの接続準備	14
10. W e b カメラを使って通話をしてみよう（TV電話）	17

<注意>

（1）Skype を使用する場合のシステム要件（Skype ホームページより抜粋）

Skype に備わった高度な機能を快適に活用し、最高の音質をお楽しみいただくには、お使いのコンピュータが以下の要件を満たすことをお勧めします。

推奨システム要件：

Windows 2000 または XP が搭載されているコンピュータ

- ・ 1 GHz 以上のプロセッサ
- ・ 256 MB 以上の RAM
- ・ 30 MB 以上のハード ドライブ空き容量
- ・ 全二重サウンド カード（1998 年以降に製造されたサウンド カードの大半が全二重）、ヘッドセット
- ・ インターネットへのケーブル接続、DSL 接続、または同等のブロードバンド接続

（2）本テキストで説明している Skype ソフトウェアのバージョンについて

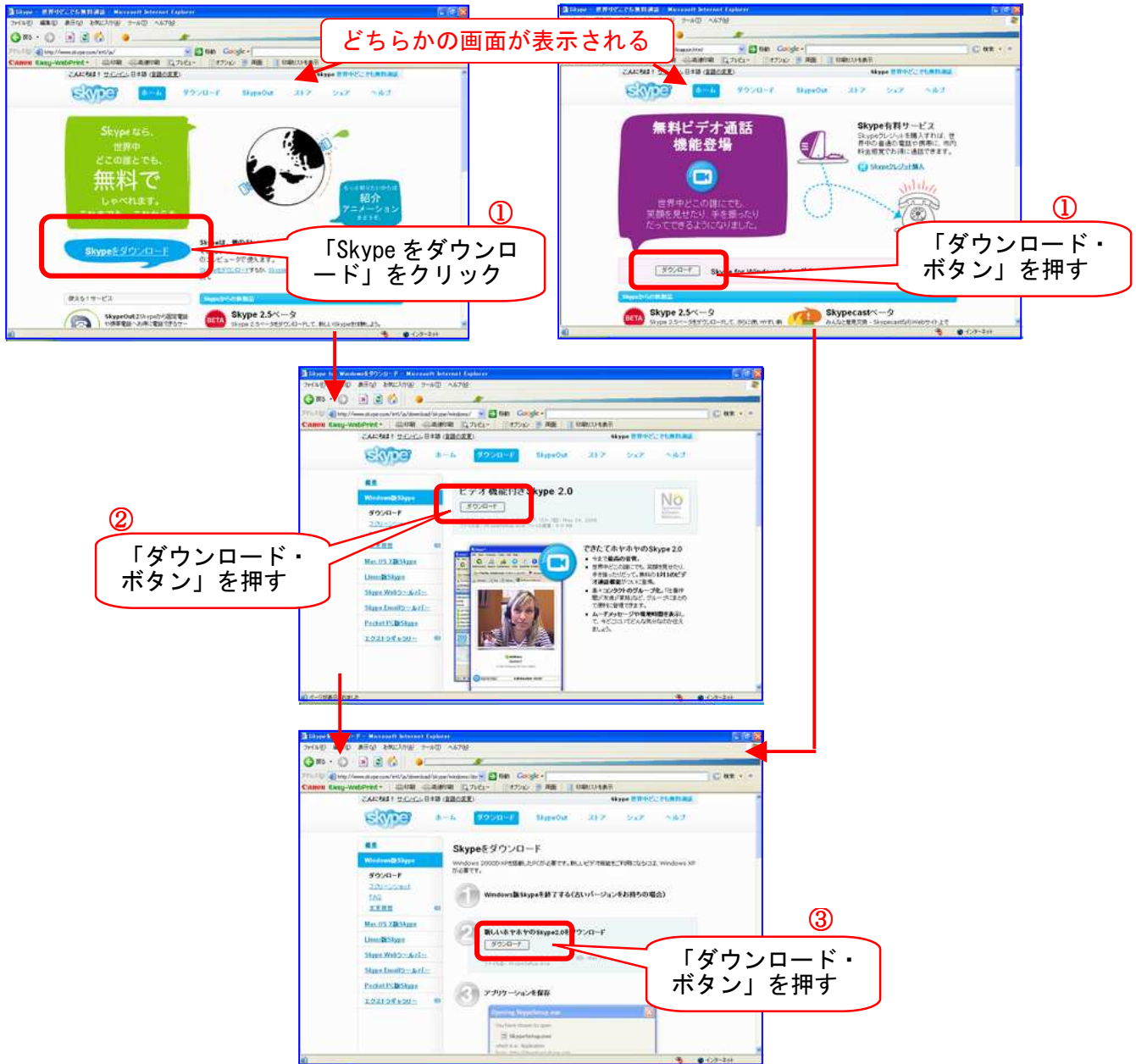
本テキストは2006年6月時点で正式リリースされているバージョン2.0の画面構成でその使用方法を説明しています。

バージョンが異なる場合には画面構成、使用方法が変わることがありますので各バージョンのマニュアルもあわせてご参照ください。

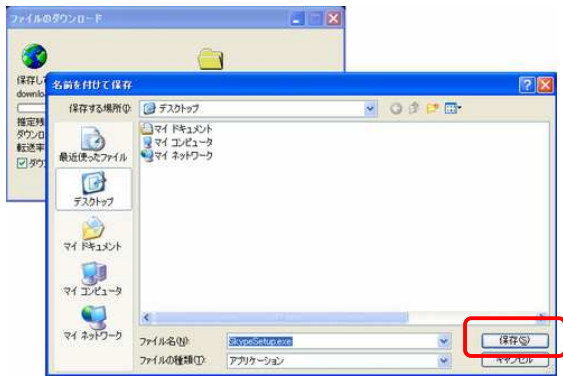
1. Skypeのインストール

1-1. Skypeソフトのダウンロード

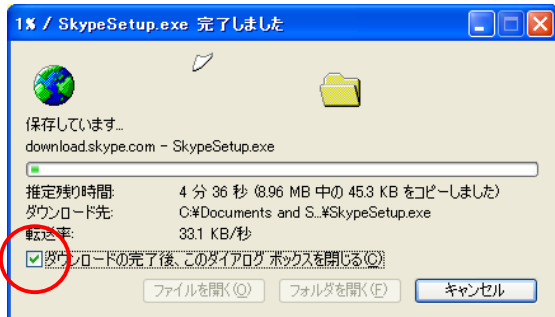
インターネット・エクスプローラを起動し、アドレス欄に
www.skype.com/intl/ja/ を入力し<Enter>キーを押す。



④ 「ファイルのダウンロード セキュリティの警告」が表示されるので「保存」ボタンを押す。



- ⑤ 「ファイルのダウンロード」が開始され「ファイルの保存場所」の指定画面が表示される。
→ 保存場所がデスクトップになっていることを確認し、「保存」ボタンを押す。



- ⑥ ファイルのダウンロードが行われている最中に「ダウンロードの完了後、このダイアログボックスを閉じる」にチェック（v）を入れる。

- ⑦ ダウンロードのダイアログボックスが閉じればダウンロードの終了。

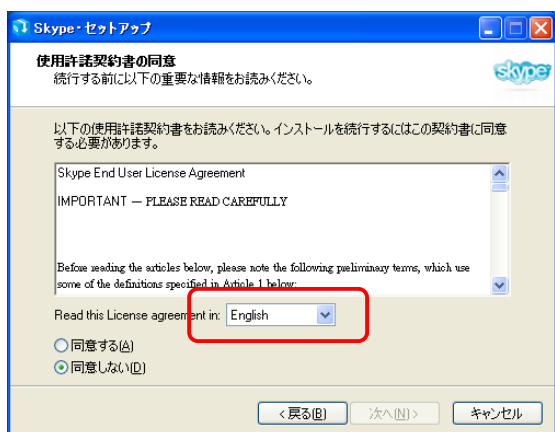
→ デスクトップ上に **SkypeSetup.exe** ができる。



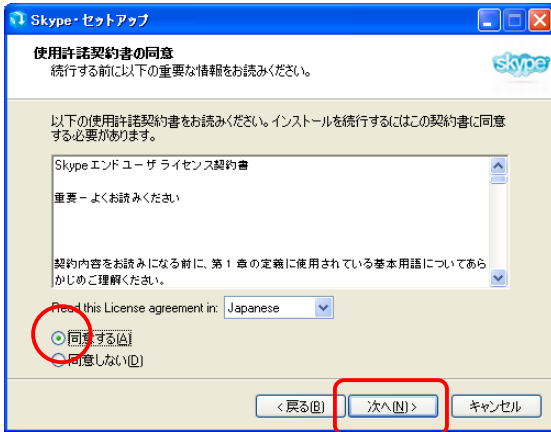
1-2. Skypeソフトのセットアップ（インストール）



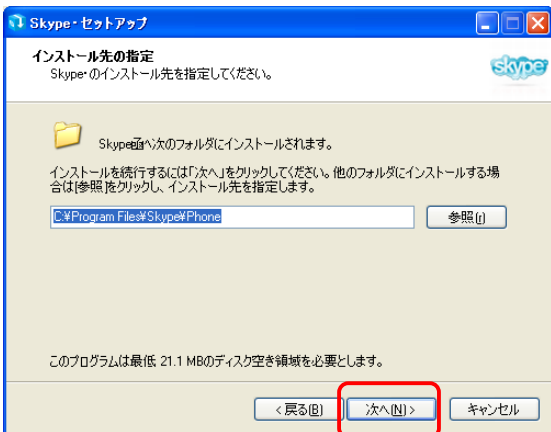
- ① デスクトップ上の **SkypeSetup.exe** をダブルクリックすると「Skype セットアップウィザード」画面が表示される。
インストール中の言語を「English」から「**Japanese**」に変更し、「次へ」ボタンを押す



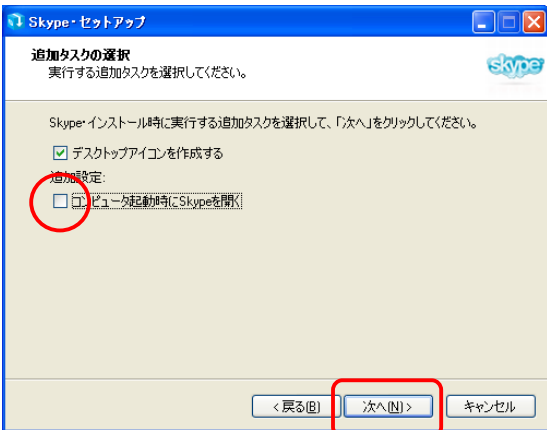
- ② 「使用許諾契約書」画面が英語で表示される。（日本語での確認をしたい場合には「Read this License agreement in:」を「**Japanese**」に変更）



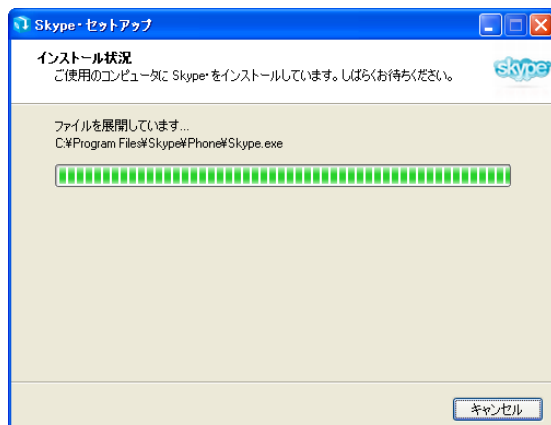
- ③ (確認後)「同意する」にチェック (v) を入れて「次へ」ボタンを押す。



- ④ 「インストール先の指定」が表示されるが、特別に指定したい場合を除きそのまま「次へ」ボタンを押す。
(C:\Program Files\Skype\Phone ディレクトリにインストールされる)



- ⑤ 「追加タスクの選択」画面が表示される。
→ 「コンピュータ起動時に Skype を開く」のチェック (v) をはずし「次へ」ボタンを押す。



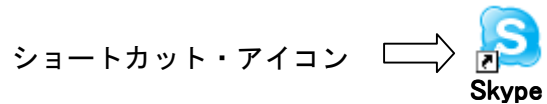
- ⑥ インストールが開始される。



⑦ 「Skype セットアップウィザードの完了」画面が表示される。

「Skype を起動する」のチェック (v) をはずし、「完了」をクリックする。

⑧ デスクトップ上にSkypeのショートカット・アイコンが出来ていることを確認する。



2. Skypeアカウントの取得



① デスクトップ上のSkypeショートカット・アイコンをダブルクリックしSkypeを起動する。(左の画面が表示される) → 「アカウントを開く」をクリックする。

●アカウント：

一般的にユーザIDと呼ばれるものでSkype使用者を特定する「識別コード」のこと。

Skype名と呼ばれ、すでに他のひとが登録しているSkype名と同じものは登録することはできない。

●アカウントの開設とはSkype名を取得・登録すること。

② 「マイアカウントの新規作成」画面が表示される。

・「ご希望のSkype名」

・「パスワード」

・「パスワード(確認)」:(確認のための再入力)

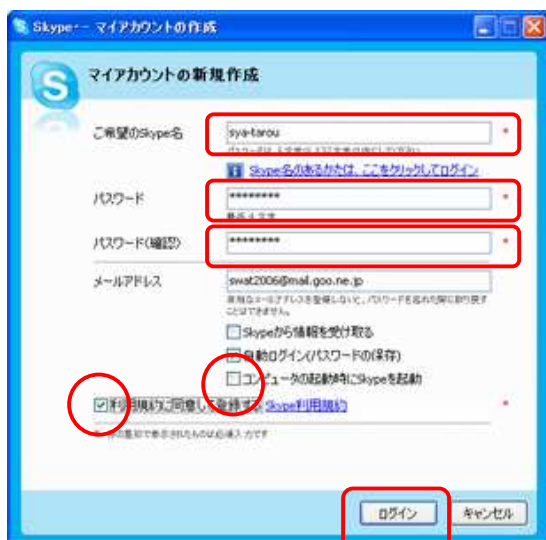
・「メールアドレス」

の各欄に入力を行う。

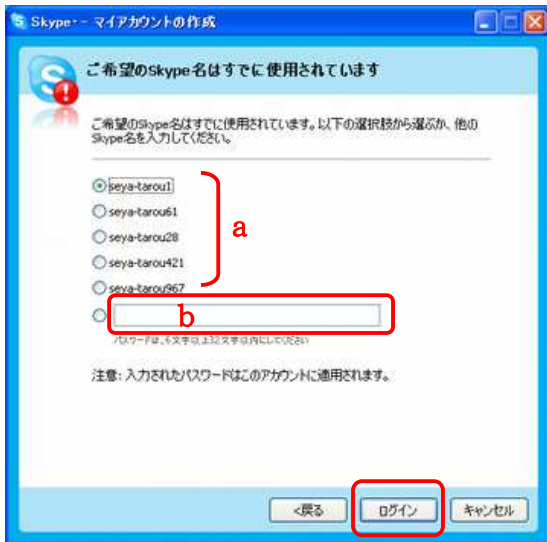
・「コンピュータ起動時のSkypeを起動する」のチェック(v)をはずす。

・「利用規約に同意して登録する」にチェック(v)を入れる。

・「ログイン」ボタンを押す。



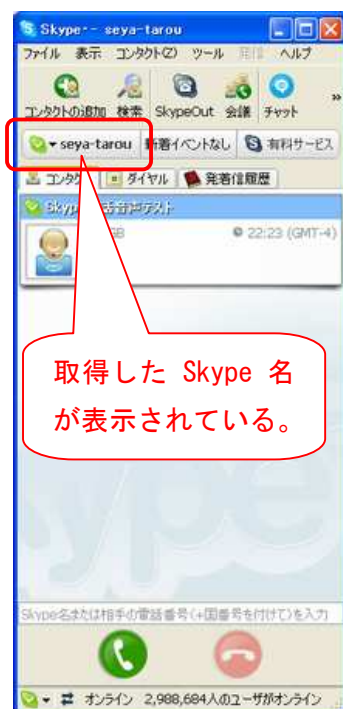
注意：Skype名は公開されるので、個人を簡単に推測できてしまうようなものは避けたほうがよい。




- ③ Skype名がすでに使用されている場合（左図）
- 「ご希望の Skype 名はすでに使用されています」の画面が表示される。
- ・ a の中から選ぶか、他の Skype 名を b 欄に入力し「ログイン」ボタンを押す。



- ④ Skype名が取得できた場合（左図）
- 「検索の手助け」画面が表示される。
- これらの情報は他の Skype ユーザから見つけやすくするための情報ですが、後から追加することができるのでここではスキップする。
- 「次へ」ボタンを押す。



- ① 取得したアカウント（Skype 名）でログインされ、左側の画面が表示される。（Skype にログインすると必ずこの画面が表示される）

- ② 同時に右側の「Hello画面」も表示されるが「Skype 起動時に開かない」にチェック（v）を入れ、ウィンドウの「閉じる」ボタンを押してこの画面を閉じる。

これで Skype アカウントの取得が完了。

3. Skypeの基本設定

3-1. プライバシー

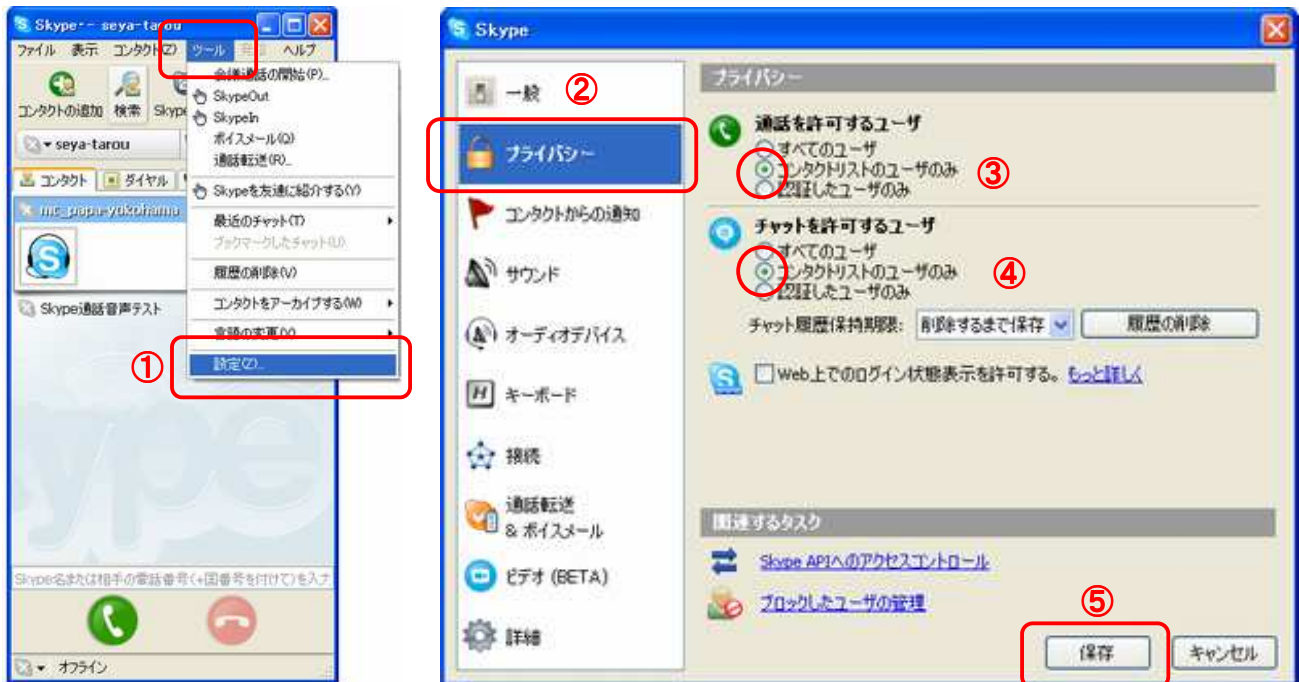
Skypeの初期設定状態はすべてのSkypeユーザとの通信を許可する状態になっている。

まだSkypeの使用に慣れていない場合は、あらかじめコンタクト・リストに登録してある家族や友人など特定の人との通話だけに限ったほうが無難である。

そのためにはプライバシー設定を行う必要がある。

(この設定を行うと、最初の通話に先立ってコンタクト・リストの「登録」操作が必要となる)

<プライバシーの設定方法>



- ①メニューバーの「ツール」→「設定」の順にクリックする。
- ②設定画面が開くので左側に表示されている「プライバシー」の項目をクリックする。
- ③「通話を許可するユーザ」欄の「コンタクトリストのユーザのみ」を選択する。
- ④「チャットを許可するユーザ」欄の「コンタクトリストのユーザのみ」を選択する。
- ⑤「保存」ボタンをクリックする。

3-2. プロフィールの設定

プロフィール設定とは他の Skype ユーザがあなたを探しやすくするための情報をあなた自身が決めて登録することをいう。

プロフィールの追加・変更はいつでもできるので、最小限度の内容にとどめておき、後で必要に応じて追加・変更を行うほうがよい。(住所、電話番号などの個人情報は入力しないこと)

<お奨め設定項目>

●Skype 表示名

Skype では、Skype 名とあわせて「Skype 表示名」を使うことができる (任意)。

Skype 表示名を設定すると、相手のコンタクト・リストにこの表示名も表示することができる。

Skype 名は世界で唯一のものであるが、Skype 表示名は自由に設定することができる (重複可)。

したがって個人をイメージしやすいハンドルネーム（ネットワーク上のニックネーム）を Skype 表示名に設定しておくことで、相手の人があなた探すときにあなたを識別しやすくなる

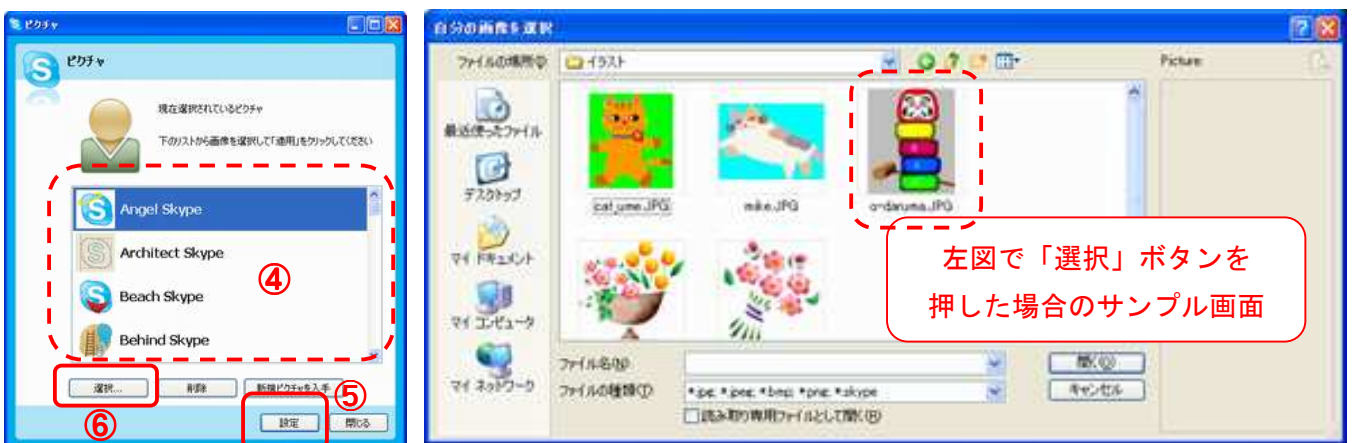
●プロフィール表示画像

プロフィール表示画像を登録しておくことで通話相手が更

にあなたを特定しやすくなる。 (Skype の初期設定画像は特徴のない「イラスト」なのでコンタクト・リスト登録者が増えると紛らわしくなってくる)

画像としては Skype で用意されている種々のイラストの中から選んで使用したり、個人で用意したイラストや画像を使用することが出来る。

- ①メニューから「ファイル」→「プロフィールの設定」の順にクリック。
- ②プロフィール画面で「Skype 表示名」を入力。
- ③プロフィール表示画像の「変更」ボタンを押す。



④表示された「ピクチャ」の中から好きなイラストを選択

⑤「設定」ボタンを押す。

または、

⑥「選択」ボタンを押して、自分の使いたい画像が入っているフォルダーから画像を選択後ピクチャ画面に戻るので「設定」ボタンを押す。



⑦「プロフィール画面」に戻るので「設定」ボタンを押す。

4. Skype基本画面の構成



① **コンタクト・タブ**

ダイヤル・タブ

発信履歴タブ

着信・通話タブ

- ①コンタクト・リスト（個人電話帳）が表示される。
- ②Skype名入力欄
- ③オンライン／オフライン／退席中などのログイン状態を表示。

有料の Skypeout 通話をしなければ使用しない。
契約していなければ発信／停止ボタンが淡色になっていて使用できない状態になっている。

着信、通話状態でタブが追加される。





発信ボタン




停止ボタン


5. Skypeの通話方法

自分の「ログイン状態」表示が「オンライン」であることを確認。

●**発信側** : コンタクト・リストから通話相手を選択し、「発信」ボタンを押す。

または、「Skype 名入力欄」に相手の Skype 名を入力し「発信」ボタンを押す。

●**着信側** : 呼び出し音がなったら発信者確かめて「発信」ボタンを押すと相手と接続され通話が開始できる。

●**通話終了** : 発信側、着信側のどちらからでも「停止」ボタンを押せば通話終了となる。

自分の「ログイン状態」が「オフライン」で発信を行った場合

「原因不明です」と表示される。



6. Skypeの音声通話テスト

①パソコンにヘッドセット（マイク、イヤフォン）を接続する。

- ・ピンク色プラグ → マイク端子に挿入
 - ・薄緑色プラグ → イヤフォン端子に挿入
- （製品によってははUSBタイプのものもある）

②「コンタクト」タブで「Skype 通話音声テスト」を選択し「発信」ボタンを押す。

●こちらは Skype 音声テストサービスです。 ピープ音の後にメッセージを10秒間でお話ください。10秒後あなたの声が再生されます。

の案内とピープ音が流れテストが開始される。

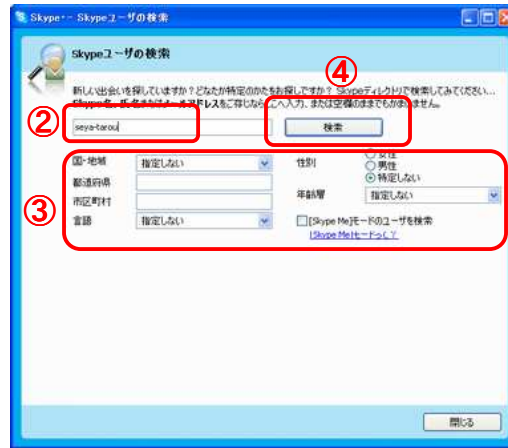
③ピープ音の後に10秒間でテストメッセージを話す。
その後話したテストメッセージが折り返されてくる。

●テストメッセージが正常に聞こえれば Skype の通話が問題なく行える状態にある。
聞きながらマイクやスピーカの音量調整をする。

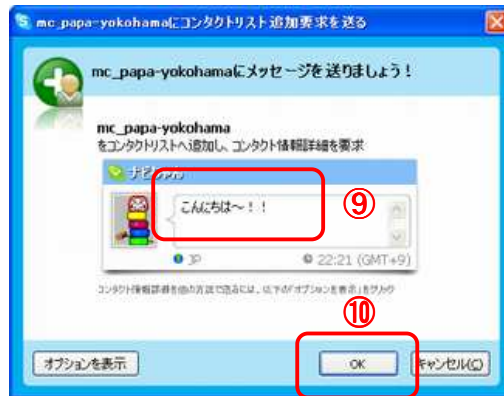
●聞こえなかった場合、マイク／スピーカの接続確認、「音量コントロール」の設定確認 等を行い再度テストを行う。 （何度でもテスト可能）。

（注意）イヤフォン音量設定箇所は「パソコン本体側面の音量つまみ」と「Windows 上の音量設定」の2箇所存在する。

7. コンタクト・リスト（個人電話帳）の作成



- ① 「検索」アイコンをクリック。
- ② 「Skype ユーザの検索」画面で登録したい相手の「skype 名」または「skype 表示名」を入力。
- ③ 必要に応じて絞込みのための条件を入力。
- ④ 「検索」ボタンを押す。
- ⑤ 相手先が見つかったら画面下側に表示されるので「プロフィールを見る」アイコンをクリックする。



- ⑦ プロフィールが表示されるので希望した相手かどうか確認する。
- ⑧ OKなら「コンタクトを追加」ボタンを押す。
- ⑨ 相手へのメッセージを入力。
- ⑩ 「OK」ボタンを押す。
- ⑪ 「Skype ユーザの検索」画面に戻るので「閉じる」ボタンを押す。
- ⑫ コンタクト・リストに相手先が追加された。

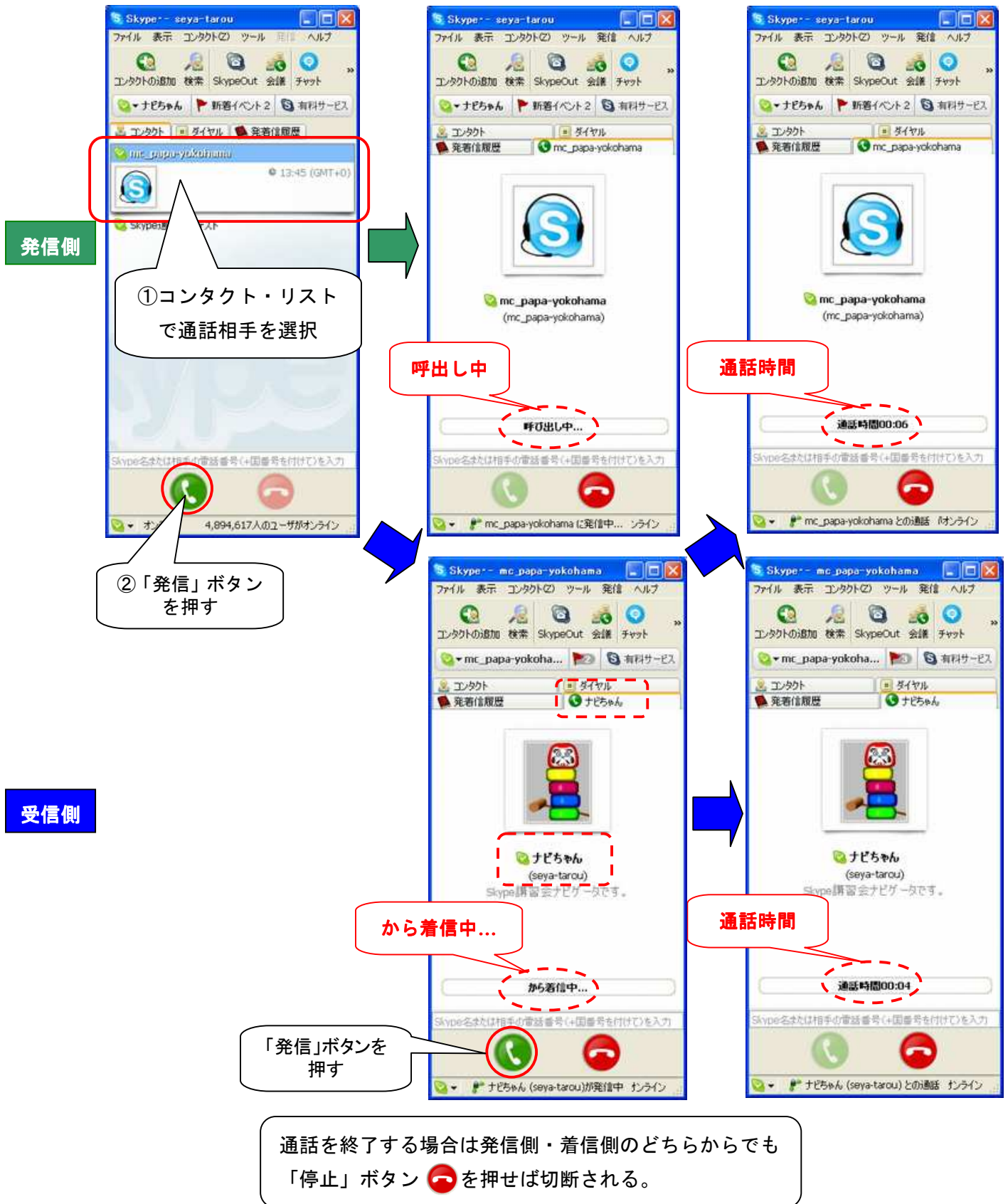


右のような「コンタクト情報要求メッセージ」が表示されることがある。この場合相手先を確認のうえ「OK」ボタンを押す。右下の画面はタスクトレイの上に表示されるが10秒程度で消える。



8. 音声通話をしてみよう

- 通話相手を受講者の中で決めてお互いに通話してみる。
- それぞれ「発信側」、「着信側」を途中で交代し「発信」、「着信」の体験をしてみる。



9. Webカメラの接続準備

Webカメラをパソコンで使用できるようにするにはWebカメラ用のドライバ・ソフト（※1）を事前にインストールしておく必要がある。……（最初に1回作業すればよい）

【用語解説】 引用：IT用語辞典 e-word (<http://e-words.jp/>)

※1：ドライバ・ソフト

周辺機器を動作させるためのソフトウェア。

OSが周辺機器を制御するための橋渡しを行なう。単に「ドライバ」と呼ばれることもある。

周辺機器の仕様や制御方法は製品によって大きく異なるため、OSが単独ですべての製品をサポートすることはできない。

このため、周辺機器メーカーは自社製品を制御するためのデバイスドライバを提供し、利用者はそれをOSに組み込んで使用する。

今回の講習会では（株）バッファローのUSBウェブカメラ（WBC-35H01）を使用してドライバ・ソフトのインストールを体験していただきます。

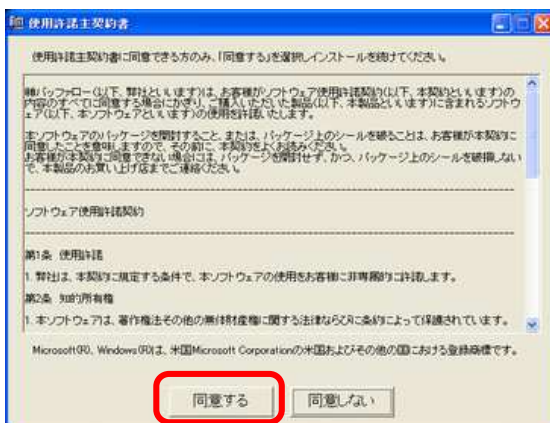
（注）他メーカーの製品や同一メーカーであっても機種が異なる場合にはインストールの方法が変わりますのでそれぞれの製品に添付されている説明書をご覧ください。

●Webカメラ・ドライバー・ソフトのインストール

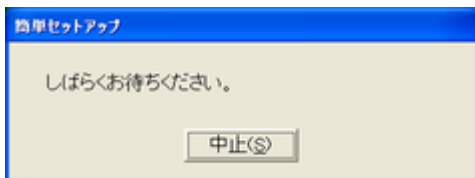
（1）「ドライバCD」をパソコンのCDドライブにセットする。



- ① CDが読み込まれ、「簡単セットアップ」の画面が表示される。
→ 「開始」ボタンを押す。



- ② 「使用許諾契約書」が表示される。
→ 「同意する」ボタンを押す。



③ 「しばらくお待ちください」が表示される。
(そのまま待つ)

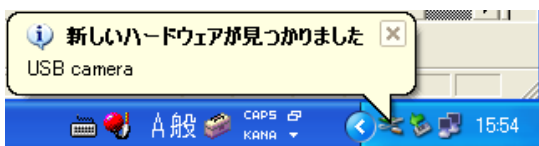


④ 「BUFFALO WBC-35H01 USB PC Camera」フォルダーと「ケーブル接続説明画面」が重なって表示される。
(ケーブル接続説明画面が裏側に隠れている場合もある。・・・タスクバーの「簡単セットアップ」をクリックすれば左図のようになる)

⑤ Web カメラのケーブルをパソコンのUSBポートに差し込む。

(注意)

USBポート差し込みの際コネクタの向きに注意のこと。
挿入できない場合は無理をせず反対向きにして挿入する。



⑥ 「新しいハードウェアが見つかりました。USB Camera」のバルーン・メッセージがタスク・トレイ近くに表示される。

(そのまま待つ)



⑦ 新しいハードウェアの検出ウィザードの「検索しています。お待ちください」

が表示される。

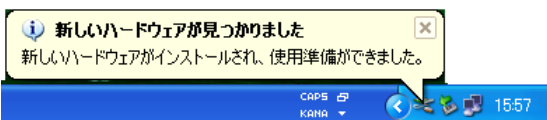
(そのまま待つ)



⑧ 新しいハードウェアの検出ウィザードの「ソフトウェアをインストールしています。お待ちください」が表示される。

(そのまま待つ)

⑨ 「新しいハードウェアが見つかりました。・・・」のバルーン・メッセージが表示される。





⑩ 「次へ」 ボタンを押す。



⑪ 「セットアップ完了」画面が表示されたら「再起動」ボタンを押す。

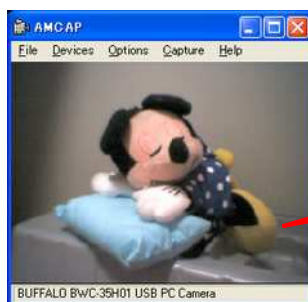
(パソコンが再起動される)

(2) Webカメラのテスト

- ① 「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」 → 「BUFFALO」 → 「BUFFALO BWC-35H01 USB PC Camera」 → 「Amcap」の順にクリックする。



- ② 「Amcap」プログラムが開始され、Webカメラからの映像がAMCAPのウィンドウ画面に表示される。



パソコンに接続されているWebカメラからの映像が表示される。

- ③ カメラからの映像が表示されたらカメラの接続準備作業は終了。

10. Webカメラを使って通話を試みよう (TV電話)

10-1. 設定確認とWebカメラのテスト

通常はWebカメラを新規に接続したときに1回行えば良い。



- ①メニューバーの「ツール」→「設定」の順にクリック。
- ②設置画面の「ビデオ」の項目名を選択する。
- ③次の項目にチェックが入っていることを確認する。チェックが入っていなければチェックを入れる。
 - ・「Skype ビデオカメラを有効化」
 - ・「ビデオ自動受信」の「コンタクトリストのユーザのみ」
 - ・「ビデオ利用を通知」の「コンタクトリストのユーザのみ」



- ④「Webカメラのテスト」ボタンを押す。
 - ・カメラからの動画像が表示されない場合は、カメラの接続やカメラの設定を見直す。
 - ・動画像が表示された場合はピントの調整（手動の場合）、必要に応じて明るさ、コントラスト等の調整を行う（Webカメラのテスト画面の右下の「Webカメラ設定」ボタンから設定画面を開く）
- ⑤Webカメラのテストが終了したら「閉じる」ボタンを押す。
- ⑥Skype 設定画面（上右図）に戻るので「保存」ボタンを押す。

10-2. ビデオ通話

発信側、着信側の画面を見ながら操作方法を説明する。

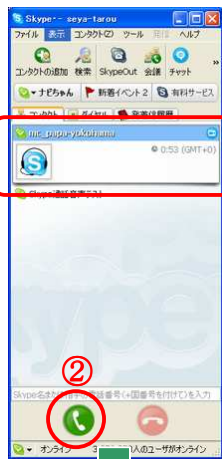


発信側

着信側

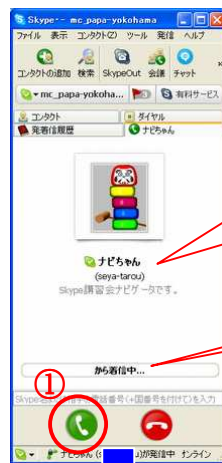


- ①コンタクトリストから通話したい人を選択する。
- ②発信ボタンを押す。



呼出している相手先

呼び出し中表示



発信者 Skype 名と相手が設定していれば Skype 表示名

着信中表示

- ①発信者を確認し「発信」ボタンを押す。(取込中なら「切断」ボタンを押す)

相手が応答し、自ビデオ映像が送信可能な状態であるとき「ビデオ開始」ボタンが表示される。

相手が応答し、自ビデオ映像が送信可能な状態であるとき「ビデオ開始」ボタンが表示される。

- ③「ビデオ開始」ボタンを押す。(どちらが先に押してもかまわない)



相手が先に「ビデオ開始」ボタンを押したので相手側の映像が表示された。

自カメラの映像が表示され、相手側に送られていることを表している。



- ②「ビデオ開始」ボタンを押す。

お互いに「ビデオ開始」ボタンを押したので相手映像と自映像が表示された。

自映像



お互いに「ビデオ開始」ボタンを押したので相手映像と自映像が表示された。

自映像



映像画面上にマウス・ポインターを置くと「ビデオ全画面」と「ビデオ・ウィンドウ」ボタンが表示される。

ビデオ・タブ画面 ⇨



ビデオ・ウィンドウ画面 (映像画面が独立したウィンドウとなる)



映像画面上にマウス・ポインターを置くと「ビデオ全画面」と「ビデオ・ウィンドウ」ボタンが表示される。

⇨ ビデオ・タブ画面



ビデオ・ウィンドウ画面 (映像画面が独立したウィンドウとなる)



- ビデオ・ウィンドウのボタン
- ①自画像の「表示／非表示」切替ボタン
- ②「通話切断」ボタン
- ③「通話ミュート（消音）」ボタン
- ④「ビデオ全画面」ボタン
- ⑤「ビデオ・タブ画面への切替」ボタン

以上が Skype のビデオ通話機能の基本操作方法ですが、

Skype には「音声通話機能」、「ビデオ通話機能」のほか「にチャット（文字による会話）機能」、「音声会議機能」、「Skype Out 機能」、「Skype In 機能」など今回説明していない機能がたくさん含まれています。

- ・「音声会議機能」は通話相手が複数の地点に散らばっていても同時におしゃべりが楽しめますのでおすすめの機能ですのでぜひお試しください。（現 2. 0 バージョンでは最大 5 人まで同時通話が可能）
- ・ Skype の仕組み、使い方について詳しく解説したホームページがありますのでこちらも是非参考にしてください。

<http://www.geocities.jp/hibiyank/index.htm>